

松戸市下水道事業経営戦略（案）

パブリックコメント（意見募集）手続実施結果

- 1 意見募集期間 令和7年1月6日（月）～令和7年2月5日（水）
- 2 意見提出者 2名
- 3 意見総件数 5件
- 4 意見内容 下表のとおり

No	頁	項目	ご意見の内容	市の考え方	修正有無
1	6	第2章 事業概要 2-1 事業の現況 (3) 組織	戦略に示された通り、たしかに今よりも今後のほうが業務内容は複雑化その量も増加すると考えられます。 そのことから①部門別職員数に今後は現状以上の業務量が想定されていることから適正な運営のための定数管理が必要と記載していますが、より具体的な戦略として、例えば、技術・ノウハウの継承のため専門職員の配置等を、記載すべきと考えます。	ご意見を踏まえ①部門別職員数の文章を以下のように修正します。 「部門別職員数は、次に示すとおりです。下水道事業会計に係る職員は、全50人（損益勘定所属職員28人、資本勘定所属職員22人。会計年度任用職員を除く。）です。 今後、未普及対策事業の推進、浸水対策、地震対策、老朽化対策、施設の老朽化に伴う維持管理業務の増加、地球温暖化等の社会情勢等への対応、健全な事業経営に向けた適正な下水道使用料水準の検討等、現状以上の業務量が予想され、下水道事業の適正な運営のため定数管理、人事配置及び技術の継承が必要になります。」	有

No	頁	項目	ご意見の内容	市の考え方	修正有無
2	21	第3章 将来の事業環境 3-3 施設の見直し (2) 老朽化対策 【管路施設】	令和7年1月、埼玉県八潮市で発生した事故があったように、標準耐用年数50年を経過していなくても事故が発生しています。 松戸市においても点検周期の見直しにより、着実に修繕を行うとともに、事前に予防的修繕を行うことも視野に入れて対応しなければなりません。当然、これらに伴う予算措置も計画的に進めていくべきと考えます。	管路施設の老朽化対策としまして、膨大な管路施設の状況を客観的に把握、評価し、長期的な施設の状態を予測しながら、計画的かつ効率的な施設管理を行うために、松戸市下水道ストックマネジメント計画を策定しております。 今回のご意見を踏まえ(2)老朽化対策【管路施設】に以下の文章を追記します。 「今後も、ストックマネジメント計画に基づき、計画的な調査、修繕及び改築・更新の実施を推進していきます。」	有
3	27	第5章 投資・財政計画 (収支計画) 5-1 収支計画のうち投資 についての説明 (1) 建設改良費	未普及対策、老朽化対策、浸水対策、耐水化対策、地震対策、分流化事業それぞれの投資額を合算したグラフを計上しています。 全体感としてはそれでいいのですが、そもそもそれぞれの事業は全て重要です。そのため、それぞれの事業計画を当該戦略に掲載すべきと考えます。 特にこれからの10年間で何をするのか強調したいことや、明確にしたいことを掲載してはいかがでしょうか。	経営戦略は、各事業の基本的な方針を示すものとなりますので、個別計画につきましては、別途、ホームページ等に掲載し、ご案内してまいります。	無
4	27、30	第5章 投資・財政計画 (収支計画)	将来投資額等について、物価上昇を見込んでいるとの記載があるが、上昇率等の考え方が示されていない。	ご意見を踏まえ、27ページの該当文章を以下のように修正します。 「将来投資額等については、物価上昇等を見込んでおり、物価上昇率は、「中長期の経済財政に関する試算」(内閣府：令和6年7月)で示されている2.0%を採用しています。」	有

No	頁	項目	ご意見の内容	市の考え方	修正有無
5	35	第5章 投資・財政計画 (収支計画) 5-6 支出削減の推進 (1) 広域化・共同化・ 最適化に関する事項	流域下水道への編入に向けて検討するとしていますが、編入するためには、金ヶ作処理区の合流式下水道を分流式にする必要があります。 これには多くの費用と時間が必要となるだけでなく、現行法では処理区内の住民にも費用負担が発生します。 そのことから分流化事業については、特に詳細を示し、住民の理解を得る必要があると考えます。	分流化事業においては、処理区域内の住民に費用負担が発生しないよう手法等について検討しているところです。また、事業の計画詳細については、今後、ホームページに掲載する等、住民の理解を得られるよう丁寧にご案内してまいります。	無